

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】令和4年6月27日(2022.6.27)

【国際公開番号】WO2019/241802

【公表番号】特表2021-527713(P2021-527713A)

【公表日】令和3年10月14日(2021.10.14)

【出願番号】特願2021-519532(P2021-519532)

【国際特許分類】

A 6 1 K 45/00(2006.01)

10

C 1 2 N 15/113(2010.01)

C 1 2 N 15/864(2006.01)

C 1 2 N 15/55(2006.01)

A 6 1 P 43/00(2006.01)

A 6 1 P 35/00(2006.01)

A 6 1 K 47/68(2017.01)

A 6 1 K 48/00(2006.01)

A 6 1 K 31/713(2006.01)

A 6 1 K 31/7105(2006.01)

A 6 1 K 38/46(2006.01)

20

A 6 1 K 31/4025(2006.01)

A 6 1 K 31/4015(2006.01)

A 6 1 K 31/4439(2006.01)

A 6 1 K 39/395(2006.01)

G 0 1 N 33/53(2006.01)

C 1 2 N 15/09(2006.01)

C 1 2 Q 1/6883(2018.01)

【F I】

A 6 1 K 45/00

C 1 2 N 15/113 Z Z N A

30

C 1 2 N 15/864 1 0 0 Z

C 1 2 N 15/55

A 6 1 P 43/00 1 0 5

A 6 1 P 35/00

A 6 1 K 47/68

A 6 1 K 48/00

A 6 1 K 31/713

A 6 1 K 31/7105

A 6 1 K 38/46

A 6 1 K 31/4025

40

A 6 1 K 31/4015

A 6 1 K 31/4439

A 6 1 P 43/00 1 1 1

A 6 1 K 39/395 C

A 6 1 K 39/395 L

G 0 1 N 33/53 M

C 1 2 N 15/09 1 0 0

C 1 2 Q 1/6883 Z

【手続補正書】

50

【提出日】令和4年6月17日(2022.6.17)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

それを必要とする個体において増殖性疾患を治療する方法に使用するための医薬組成物であって、前記増殖性疾患は高頻度マイクロサテライト不安定性(MSI-H)を有する増殖性細胞で特徴づけられ、前記方法は、前記個体に前記薬剤を投与することを含んでなり、前記医薬組成物は増殖性細胞におけるWRNのヘリカーゼ活性を低下させるために有効である薬剤を含んでなる、医薬組成物。 10

【請求項2】

前記薬剤はWRNの阻害剤である、請求項1に記載の医薬組成物。

【請求項3】

WRNの阻害剤が小分子阻害剤である、請求項2に記載の医薬組成物。

【請求項4】

前記増殖性細胞がBAT25、BAT26、D2S123、D5S346、およびD17S250からなる群から選択される1以上のMSI-Hマーカーを含んでなる、請求項1に記載の医薬組成物。 20

【請求項5】

前記方法が増殖性細胞におけるMSI-Hの存在を同定するために前記個体からの増殖性細胞の集団において1以上のMSI-Hマーカーの存在を決定することをさらに含んでなる、請求項4に記載の医薬組成物。

【請求項6】

前記1以上のMSI-Hマーカーの存在を決定することが薬剤を投与する前に行われる、請求項5に記載の医薬組成物。

【請求項7】

前記増殖性細胞がDNAミスマッチ修復を損なう突然変異を含んでなる、請求項1に記載の医薬組成物。 30

【請求項8】

前記増殖性細胞がMutSホモログにおける突然変異および/またはMutLホモログにおける突然変異を含んでなる、請求項7に記載の医薬組成物。

【請求項9】

前記MutSホモログがMSH2、MSH3、およびMSH6からなる群から選択され、かつ、前記MutLホモログがMLH1、MLH3、PMS1、およびPMS2からなる群から選択される、請求項8に記載の医薬組成物。

【請求項10】

前記増殖性細胞がMLH1、MSH2、および/またはPMS2に突然変異を含んでなる、請求項9に記載の医薬組成物。 40

【請求項11】

前記方法が前記増殖性細胞における突然変異の存在を同定するために前記個体からの増殖性細胞の集団において突然変異の存在を決定することをさらに含んでなる、請求項7に記載の医薬組成物。

【請求項12】

前記突然変異の存在を決定する工程が薬剤を投与する前に行われる、請求項11に記載の医薬組成物。

【請求項13】

前記増殖性細胞がDNA損傷の1以上のマーカーを含んでなる、請求項1に記載の医薬組 50

成物。

【請求項 14】

前記 DNA 損傷の 1 以上のマーカーが高い p 2 1 発現および高い H 2 A X 発現からなる群から選択される、請求項 13 に記載の医薬組成物。

【請求項 15】

前記方法が前記増殖性細胞における DNA 損傷の 1 以上のマーカーの存在を同定するために前記個体からの増殖性細胞の集団において DNA 損傷の 1 以上のマーカーの存在を決定することをさらに含んでなる、請求項 13 に記載の医薬組成物。

【請求項 16】

前記 DNA 損傷の 1 以上のマーカーの存在を決定する工程が薬剤を投与する前に行われる、請求項 15 に記載の医薬組成物。 10

【請求項 17】

前記増殖性疾患が癌である、請求項 1 に記載の医薬組成物。

【請求項 18】

前記癌が結腸癌、胃癌、子宮内膜癌、卵巣癌、肝胆道癌、尿路癌、脳癌、および皮膚癌からなる群から選択される、請求項 17 に記載の医薬組成物。

【請求項 19】

前記方法が前記個体に前記増殖性疾患のための従来療法を投与することをさらに含んでなる、請求項 1 に記載の医薬組成物。

【請求項 20】

前記個体に抗 PD - 1 療法を投与することを含んでなる、請求項 19 に記載の医薬組成物。 20

30

40

50